

# 大阪市コンプライアンス白書（平成 28 年度版）【概要版】

## 大阪市で考える「コンプライアンス」の意味

法令等をしっかり守ることを基本とし、全体の奉仕者として、法令の奥にある市民の要請を理解し、これに応えていくこと



市民から信頼される市政運営のための  
コンプライアンスの確保と職員のコンプライアンス意識の向上

## 平成 28 年度の実績結果

### 公益通報制度の運用

- 受付件数が高止まり（711 件）している公益通報について、処理の適正な進捗管理  
= 次年度への処理継続件数が減少（平成 27 年度末 144 件 平成 28 年度末 107 件）
- 違法又は不適正な事実が認められた案件 46 件について、是正・再発防止措置がとられていることを確認  
= 公益通報制度が公正な職務の執行に寄与
- 公正職務審査委員会から大阪市長あての意見（組織マネジメントの観点からの服務規律確保の徹底）を踏まえた取組  
= 服務規律に関する通報の減少

### 課題

引き続き調査審議の公正性の確保と迅速化  
業務において違法又は不適正な事実が認められた事案について、同種事案の発生防止のための取組  
服務規律確保のための必要な取組の継続

### 不当要求行為への対応

- 職員に対する「行政対象暴力対応研修」は実践的な内容であったとの評価  
= 有効な取組

### 課題

不当要求行為対応に関する取組の認知率の向上  
執拗に要求等を行う市民への対応に関する職員への教育・研修の継続

## 職員のコンプライアンス意識向上のための取組

- コンプライアンス研修がコンプライアンス意識の向上に役立つと感じている職員の割合が増加傾向  
= より効果的に研修が実施できたと評価

### 課題

- 職員一人ひとりの意識に働きかける取組(上司からのメッセージの発信、研修、タイムリーな情報発信等)
- 区役所・局等が主体となって職場の実態に応じた各種取組を実施できる環境づくり
- コンプライアンス確保の取組についての市民への情報発信

### 平成 28 年度のコンプライアンス確保の取組に対する全体評価

職員アンケートの結果を踏まえると、一定の進捗があったと評価できる一方で、市政モニターアンケートにおいて「職員がコンプライアンスを意識している」と思う市民の割合が半数以下に留まっている。

#### 【アンケート結果】

- ・日々の業務執行にあたりコンプライアンスを意識していない職員の割合  
平成27年度4.1% ➡平成28年度3.5%
- ・職員はコンプライアンスを意識していると思っている市民の割合  
平成 28 年度 47.7%



### 平成 29 年度の取組内容

- 公益通報案件の着実な処理
- 不当要求行為対応等の認知率向上
- コンプライアンスに関するメッセージの発信  
= 「コンプライアンスを市民の立場で考えてみよう」
- コンプライアンス研修や職員への情報発信等の効果的な実施
- 市民向けセミナーの実施